

博士論文（要約）

中国絵画の内と外

宮崎 法子

# 中国絵画の内と外

宮崎 法子

中央公論美術出版

## 目次

第一部 中国絵画をめぐる世界	
第一章 山水、人物、花鳥の主題と社会	
一 女性の消えた世界	はじめに 7
一 消えた女性、描かれた女性	10
二 置く女性	17
三 女性が支える絵画 女性を支える絵画	21
おわりに	26
二 中国山水画の内と外	はじめに 29
一 宋代社会と絵画	30
二 頤和園と清代絵画	33
三 宋代士大夫の風貌	33

## 第二章 中国文化圏のなかの日本——非対称の文化交流

一 伝統中国から見た日本美術——非対称の視線	はじめに 153
一 伝説中国から見た日本美術	155
二 中国の文文化と日本文化	161
三 中世から近代日本美術の流転	162
四 具書前における時代ごとの比較	165
五 西朝における鑑賞の経緯と、江戸時代の俗文化	170
おわりに——中国から見た日本美術の特徴	176
二 明代蘇州の園林文化とその伝播——呉淞別業園から大名庭園へ	はじめに 183
一 中国における山荘と庭園	183
二 日本の庭園博覧と中国の庭園	185
三 元代江南文人の意匠から明代蘇州の強を因へ	186
四 沈周・東園圖(冊)・南村草堂詩影	189
五 江戸時代初期の庭園ブーム——大名庭園	189
六 江戸時代の大名庭園と、東洋三冊	190
七 既書を見る——昭和三十二年の「江戸の別業園」	194
おわりに	196

四 元代における文人士画の確立	35
五 山水画の興隆	36
六 山水画の流転	38
七 宮廷画家と文人画家 畫院の盛衰	51
おわりに	56
三 中国における女性描写の展開	はじめに 61
一 美人画と仕女画	62
二 中国の女性像の展開と思考	64
三 宮廷、仕女を讃める繪画と宮女を描く繪画	76
おわりに	83
四 花鳥画の役割と意味——藻華園、蓮池水禽圖、草虫画における寓意を中心に	はじめに 85
一 花鳥画のモチーフ	89
二 藻華園	94
三 蓮池水禽圖	103
四 草虫画	117
五 宮廷の階級と明興の花鳥画受容	126
おわりに	128
五 歳寒三友と四君子	歳寒三友 143
一 歳寒三友	143
二 松竹梅にまつわる記憶	144
三 四君子	146

三 日本匠系の作品からみる明代の「偽好物」……………201

はじめて 201

一 機軸の複製 202

二 明代における社会の標準と創造「宮中」と「職師複製画」について 203

三 景徳帝の複製 匠師画「安図」 206

四 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

五 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

六 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

七 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

八 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

九 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

一〇 景徳帝の複製 匠師画「安図」 207

おわりに 212

第二章 近代における中国絵画……………217

一 日本近代における文人文化とその消長——財閥の美術蒐集を軸に……………217

はじめて 217

一 近代美術の発展 218

二 大塚南堂の複製 220

三 明治前期の複製のコレクション——香月園の複製のコレクション 221

四 「日本近代」の複製 222

五 複製から本へ、文人画から本へ 223

六 「複製」の複製 224

七 大塚から複製へ、新たな文人画の複製 225

おわりに 229

二 日本近代のなかの中国絵画史研究……………233

はじめて 233

一 フランソワ 234

二 大塚南堂と「複製複製複製」 235

三 桑名鉄城の訪中と「安晚帖」の伝来について……………249

はじめて 249

一 「安晚帖」の複製者たち 250

二 複製者とそれ以前の伝来 251

三 桑名鉄城の訪中と北方心象 256

四 鉄城訪中の地図（複製） 258

おわりに 259

四 「海軍図案解題」と彫刻研究……………265

はじめて 265

一 「海」と「海」 267

二 「海軍図案解題」をめぐる人々 273

三 「海軍」と「海軍」 273

四 正統本について 276

おわりに 278

五 中国美術の近代……………283

一 中国の近代 283

二 明末で終わる近代 284

三 清末の複製……………277

四 匠師「白面像」 266

五 複製の文人画自題「日本」 268

六 海外伝説と複製 269

七 匠師への回帰 269

八 匠師、匠師と民衆の複製 269

九 林風眠と複製 269

一〇 匠師における中国美術 269

おわりに 269

第二部 作品の世界を読む……………301

第一章 宋元時代の道釈画と人物画……………301

一 匠師然翁十六羅漢図考……………301

はじめて 301

一 十六羅漢の複製について 302

二 中国における道釈画の複製 302

三 日本における道釈画の複製 302

四 複製複製複製 302

おわりに 304

二 山西省の寺廟壁画——北宋から元まで……………361

はじめて 361

一 晋北の壁画……………363

二 晋南の壁画……………363

おわりに 363

三 静嘉堂文庫美術館蔵「十士図・二僧苦図」について……………377

一 「十士図」は「十士」であるか 380

二 「十士図」の複製 382

三 「十士図」の複製 383

四 中国美術の複製について 383

五 複製者の複製 386

六 複製者の複製 388

おわりに 392

四 交差する複製——宮中を中心……………395

はじめて 395

一 中国の文人画の複製 397

二 複製の文人画の複製 397

三 複製の文人画の複製 399

四 複製の文人画の複製 401

五 複製の文人画の複製 401

おわりに 402

五 「清明上河図」の過去と現在——今後の研究に向けて……………427

はじめて 427

一 複製複製「清明上河図」に関する複製複製の複製 428

第二章 宋元時代の花鳥画と山水画

一 崔白「双喜図」について……………463

二 元「花鳥図」(シロストラリア国立グイタリア美術館蔵)について……………469

はじめて……………469

一 一 崔白「双喜図」……………470

二 一 崔白……………472

三 全体の色……………473

四 毛の塗り……………473

五 花の塗り……………477

六 花……………477

七 竹……………480

おわりに……………483

三 上海博物館蔵「西湖図」巻で北京故宮博物院蔵「西湖早景図」巻について……………485

はじめて……………485

一 一 上海「西湖図」……………487

二 一 上海「西湖図」……………487

四 南宋宮廷絵画における文人意匠——画院画家の二つの画風について……………509

第二章 明清時代の絵画

はじめて……………499

一 本居山水図……………499

二 山本山水図……………500

三 張翥の山水図……………501

四 張翥の山水図……………501

五 「瀟湘臥遊図巻」から趙孟頫へ……………506

はじめて……………523

一 一 瀟湘臥遊図……………523

二 一 瀟湘臥遊図……………523

三 一 瀟湘臥遊図……………527

四 一 瀟湘臥遊図……………530

五 一 瀟湘臥遊図……………531

おわりに……………536

はじめて……………543

一 一 吳派初期の別業図——沈周「東莊図」冊を中心として……………543

二 一 沈周「南村草堂図」冊……………547

三 一 沈周「南村草堂図」冊……………551

四 一 沈周「南村草堂図」冊……………556

五 一 沈周「南村草堂図」冊……………557

おわりに……………567

三 「家仙節図」「仙山樓閣図」から見る仇英山水画の展開

はじめて……………563

一 「家仙節」……………563

二 仇英の「家仙節」……………572

三 仇英の「家仙節」……………576

四 日本に伝わった「家仙節」……………581

五 文人と仇英……………584

おわりに……………589

三 「家仙節図」「仙山樓閣図」から見る仇英山水画の展開……………595

はじめて……………595

一 「家仙節図」……………598

二 「仙山樓閣図」……………598

三 仇英山水画における「家仙節」……………601

四 「家仙節図」から「仙山樓閣図」へ……………602

おわりに……………604

四 徐渭の作畫の背景——日本伝来の浙江地方の墨戲との関連を中心に……………621

はじめて……………621

一 一 徐渭の「一筆草書」……………621

二 一 徐渭の「一筆草書」……………621

三 一 徐渭の「一筆草書」……………621

おわりに……………647

五 董其昌山水画における背景——「婉孌早景図」を中心に……………655

はじめて……………655

一 一 董其昌「九思三稿」……………656

二 一 董其昌「九思三稿」……………657

結

はじめて……………660

六 八大山人の甲戌(一六九四年)……………660

はじめて……………666

一 「八大山人」……………666

二 「八大山人」……………667

三 「八大山人」……………667

四 八大山人の山水画……………667

おわりに……………669

七 石簪と「黄山図巻」……………689

はじめて……………689

一 一 石簪……………689

二 一 石簪……………689

おわりに……………697

はじめて……………727

初出一覧……………731

おわりに……………736

本文

博士論文の全文は、すでに書籍として出版されており、出版契約により全文公表は出来ないため、以下に書誌事項を記し、本文に替える。

宮崎法子 『中国絵画の内と外』 中央公論美術出版 令和2年2月  
ISBN978-4-8055-0878-7

## 参考文献一覧

第1部・第2部ごとに、①論文・解説、②書籍・図録、③美術全集・工具書、④画史著録・画譜 ⑤漢籍、和書古典籍、仏書などに分け、各分類内は原則として言語別、出版年順とした。(③④について1部2部の重複分は省いた。⑤内は、第2部のみ別項目とした。)

### 第1部

#### 【論文・解説】

- 岸田劉生「東西の美術を論じて宋元画に及ぶ」『改造』6巻1号、1910年  
島田修二郎「呂敬甫の草虫図」『美術研究』150号、1948年  
島田修二郎「石菖蒲図 子庭祖柏筆」『美術研究』180号、1955年  
米澤嘉圃「日本にある宋元画」『東洋美術』絵画I、朝日新聞社、1967年  
古原宏伸「石濤『黄山八勝』冊解説」筑摩書房『黄山八勝冊』付録、1972年  
曾布川寛「郭熙と早春図」『東洋史研究』3514、1977年  
小川裕充「郭熙筆早春図」『国華』1035、1980年  
楊仁愷(杉本達夫訳)「葉茂台七号墓出土の古画に関する考察」『国華』1080、1985年  
島田修二郎「日観と墨葡萄」『美術研究』337、1987年  
林巳奈夫「中国古代における蓮の花の象徴」『東方学報』第59冊、1987年  
古原宏伸「盗作の論理—国画改良運動始末」『特別展橋本コレクション中国近現代絵画』  
渋谷区立松涛美術館、1988年  
宮崎法子「花鳥画の誕生」『i s』No.35、1988年  
宮崎法子「中国絵画における装飾性の問題—宋代花鳥画その意味の問題を中心に」〔国際交流美術史研究会第11回シンポジウム東洋美術における装飾報告書、1992年  
鶴田武良「原田悟朗氏聞書大正-昭和初期における中国画コレクションの成立」『中国明清名画展中国天津市芸術博物館秘蔵展』日中友好会館、1992年  
木山英雄「周作人狙撃事件と『抗日殺奸団』」1992年10月記 月報『岩波講座近代日本と植民地』  
吉田千鶴子「大村西崖と中国」『東京藝術大学美術学部紀要』29、1994年  
田所政江「天理図書館蔵中国版画—実見と実測の記録を中心に」『ビブリア』103、1995年  
坂元晶「明代中期蘇州商人のネットワークの一考察：呉寛の家系の復元を中心に」『待兼山論叢、史学篇』30、1996年  
玉蟲敏子「明清文物賞玩の系譜と静嘉堂コレクション」『静嘉堂蔵煎茶具名彙図録』1998年  
「九成宮醴泉銘解説」三井文庫編『聴水閣旧蔵碑拓名帖撰』1998年  
福岡さち子「王蒙筆『具区林屋図』試論」『美術史』148、美術史学会、2000年

小林優子「明・清の書画を見つめた人々」『静嘉堂明清書画清賞』静嘉堂文庫美術館刊、2005年

小田部雄次「東京美術クラブ結成と美術市場」「大売り立ての時代」『美術商の百年東京美術倶楽部百年』（歴史編）東京美術倶楽部刊、2006年

仲町啓子「芥子園画伝の和刻をめぐる」『実践女子大学文藝資料研究所別冊年報』X、2006年

小林優子「あこがれの文人画家王建章をめぐる賞翫のいとなみ」展覧会図録『近代文人のいとなみ』成田山書道美術館刊、2006年

佐藤道信「『日本美術』の市場形成」『美術商の百年東京美術倶楽部百年』（歴史編）東京美術倶楽部刊、2006年

実方葉子「住友コレクションにみる中国絵画鑑賞と蒐集の歴史〔資料編〕」『泉屋博古館紀要』23、2007年

宮崎法子「狩野派模本から見た中国の仕女図」『泉屋博古館紀要』25、2009年

板倉聖哲「幕末期における東アジア絵画コレクションの史的位置」『関西中国書画コレクションの過去と未来：国際シンポジウム報告書』2012年所収

富田淳「槐安居コレクションと聴氷閣コレクション」『関西中国書画コレクションの過去と未来：国際シンポジウム報告書』2012年

味岡義人「橋本コレクションと桑名コレクション」『美術フォーラム21』vol.26、2012年

楊仁愷「叶茂台辽墓出土古画の時代及其他」『文物』712、1975年

高居翰（James Cahill）「三張五代（十世紀）時的中国絵画与元末山水画之關係」『中央研究院国際漢学会議文集』台北中央研究院、1981年

王英志「論袁氏家族男性詩人之功過一性靈派研究之一」『蘇州大学学報』1995年4号

衣若芬「北宋題仕女画詩析論」『中央研究院中国文哲研究所十周年紀念論文集』1999年

黄小峰「南宋張澂《画録広遺》考」『美術研究』2009年1期、北京中央美術学院

石守謙「蘇州文人絵画的成立、推展与挑戦」（中文発表原稿）国際シンポジウム報告書『蘇州をめぐる諸問題中国と日本の視点から』2016年

Barry Till, "A Chinese general's tomb: Identification of the Ming Tomb", *Rotanda* Vol.4 Spring 1981.

Peter C. Sturman, "Cranes above Kaifeng: The auspicious Image at the court of Huizong", *Ars Orientalis*, Vol. 20, 1990.

Ka Bo Tang, "Chinese gift with best wishes", *Arts of Asia*, July-August, 1994.

Robert Joe Cutter "Sex, Politics, and Morality at The Wei (220-265) Court", *Selected Essays on Court Culture in Cross Cultural Perspective*, National Taiwan University Press, 1999.

Jan Stuart, "Layers of Meaning", Louise Allison Court and Jan Stuart, *Joined Colors ; Decoration and Meaning in Chinese Porcelain*, Arthur M. Sackler Gallery, Smithsonian Institution, Washington D. C.

1993.

【書籍・図録】

- フェノロサ『美術真説』龍池会、1882年  
桑名鉄城『九華印室鑑蔵画録』文星堂、1920年  
瀧精一『文人画概論』改造社、1922年  
大村西崖『東洋美術史』東洋堂書店、1925年  
天津居留民団編『天津居留民団二十周年記念誌』〔後編日本人と天津〕1930年  
内藤湖南『支那絵画史』弘文堂、1938年  
野崎誠近『吉祥図案解題』平凡社、1940年再版  
中西利八『中国紳士録』満蒙資料協会、東京、1940年初版、1942年再版本  
白川忠三『天津居留民団 三十周年記念誌』1941年  
小松原涛『陳元賛の研究』雄山閣、1962年  
田中豊蔵『中国絵画の研究』二玄社、1964年  
内藤湖南『内藤湖南全集』14、筑摩書房、1969年  
長谷部楽爾『磁州窯』『陶磁大系』39、平凡社、1974年  
中田勇次郎『文房清玩』二玄社、1975年  
清水茂『中国古典選唐宋八家文 4』朝日新聞社、1979年  
『鈴木敬先生還暦記念 中国絵画史論集』吉川弘文館、1981年  
本岡三郎編著『北方心泉〔人と芸術〕』二玄社、1982年  
矢代幸雄「大村西崖」『忘れ得ぬ人々―矢代美術論集』1、岩波書店、1984年  
東京大学百年史編集委員会編『東京大学百年史 部局史1』東京大学、1986年  
矢沢利彦『西洋人の見た 16-1 八世紀の中国女性』東方書店、1990年  
林巳奈夫『石に刻まれた世界―画像石が語る古代中国の生活と思想』東方書店、1992年  
島田修二郎『中国絵画史研究 島田修二郎著作集 二』中央公論美術出版、1993年  
J・ジェルネ著 栗本一夫訳『中国近世の百万都市―蒙古襲来前夜の杭州』平凡社、1993年  
村上哲見『中国文人論』汲古選書、1994年  
米澤嘉圃『米澤嘉圃美術史論集』国華社、1994年  
林巳奈夫『中国文明の誕生』吉川弘文館、1995年  
池田忍『日本絵画の女性像―ジェンダー美術史の視点から』(ちくまプリマーブックス 120)  
筑摩書房、1998年  
宮崎法子『花鳥山水を読み解く―中国絵画の意味』角川書店 2003年  
仲町啓子編『仕女図から唐美人図へ』実践女子学園学術・教育研究叢書 17、2009年  
川邊雄大『東本願寺中国布教の研究』研文出版、2013年  
  
徐邦達『古書画偽訛考弁』江蘇古籍出版社、1984年



楊仁愷『叶茂台第七号辽墓出土古画考』上海美術出版社、1984年  
漢宝德『物象与心境—中国園林史』台北・幼獅文化、1990年  
陳高華『元代画家史料匯編』杭州出版、2004年

E.Fenollosa, *Epochs of Chinese and Japanese Art*, 1912, London.

(有賀長雄訳、大村西崖校閲『東洋美術史綱』1912年)

Maggie Bickford, *Bones of Jade, Soul of Ice*, 1984, Yale University Art Gallery.

Kiyohiko Munakata, *Sacred Mountains in Chinese Art*, 1991. University of Illinois Press.

*Homage to Heaven Homage to Earth --Chinese Treasures of the Royal Ontario Museum*, Toronto, 1992.

Jan Stuart, *Layers of Meaning* (Louise Allison Court and Jan Stuart, *Joined Colors ; Decoration and Meaning in Chinese Porcelain*, Arthur M. Sackler Gallery, Smithsonian Institution, Washington D. C. 1993.

Wen C. Fong, *Beyond Representation*, The Metropolitan Museum of Art, New York, Yale University Press, New Haven.

Craig Clunas, *Fruitful Sights: Garden Culture in Ming Dynasty China*. 1996, London.

Wu Hung, *The Double Screen*, 1996, The University of Chicago Press.

#### 【美術全集・工具書】

唐宋名画展覽會編『唐宋元明名画大觀』大塚巧藝社、1929年

『故宮名画三百種』國立故宮中央博物院、1959年

『故宮博物院藏画集 中国歴代絵画』北京・人民美術出版 1978-1991年

『東洋美術』絵画 1, 2、朝日新聞社、1967年

『中国美術』絵画 1, 2、講談社、1973年

『水墨美術大系』(1, 2, 3, 4, 11 卷) 講談社、1973-1977年

鈴木敬他編『中国絵画総合図録』『同 続編』『同 三編』東京大学出版会、1982-2020年

中国古代書画鑑定組編『中国古代書画図目』北京・文物出版社、1986-2001年

『故宮書画図録』台北国立故宮博物院博物院、1989年～

『中国美術全集』絵画編 上海人民美術出版社、1985-89年

『中国絵画全集』北京・文物出版社、1997-2001年

『世界美術大全集 東洋編』小学館、1997-2000年

『故宮博物院藏文物珍品全集』1-16、1995-2007年

國立故宮中央博物院共同理事会編『晋唐以来書画館藏家款印譜』香港・開發出版、1964年

『佩文韻府』：索引本、台北・台湾商務印書館、1966年

『漢語大詞典』漢語大詞典出版社、1986～1994年

上海博物館編『中国書画家印鑑款識』北京・文物出版社 1987年

【画史著録・画譜類】

- 張彥遠『歷代名画記』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）  
朱景玄『唐朝名画録』（『画品叢書』）  
郭若虚『図画見聞誌』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）  
『宣和画譜』（『画史叢書』『中国美術論著叢刊』）  
張激『画録広遺』（『美術叢書』4集）  
趙希鴻『洞天清祿集』（『美術叢書』初集）  
鄧椿『画繼』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）  
宋伯仁『梅花喜神譜』（復刻 中国書店、1995年）  
莊肅『画繼補遺』（北京・人民美術出版社『中国美術論著叢刊』）  
夏文彦『図絵宝鑑』卷3（『画史叢書』）  
都穆『寓意編』（台北・芸文印書館、1966年）  
唐寅『六如居士画譜』（『美術叢書』2集）  
屠隆『考槃餘事』（『和刻本書画集成』、汲古書院、1978年／中田勇次郎『文房清玩』二玄社）  
高濂『遵生八箋』（『文淵閣四庫全書』）  
周亮工『書影抄録』（『美術叢書』）  
卞文瑜『式古堂書画彙考』（台北・正中書局、1958年）  
彭蘊璠『歴代画史彙伝』光緒8年（1882、北京魯成堂）  
『過雲楼書画記・続記』江蘇古籍出版社、1999年  
『唐詩画譜』（天啓年間 徽州黄鳳池刊）（北京古籍出版社影印）
- 于安蘭『画史叢書』上海人民美術出版社、1963年  
黄賓虹編『美術叢書』全6集、芸文印書館、1975年  
長沢規矩也『和刻本書画集成』汲古書院、1975年  
中国書画全書編纂委員会『中国書画全書』上海書画出版社、1992年  
廬輔聖主編『中国書画全書』修訂本、上海書画出版社、2009年

【漢籍・和書古典籍関係】

- 『論語』（金谷治訳注『論語』岩波書店、1963年）  
『礼記』（『四部叢刊』初編）  
『楚辞』（『新釈漢文大系』34、明治書院、1970年、目加田誠訳『中国古典文学大系 詩經・楚辞』平凡社、1973年）  
『詩經』（目加田誠『新釈詩經』岩波新書、1971年）

- 『莊子』（福永光司『莊子』朝日新聞社中国古典選 15、1978 年）
- 目加田誠『定本詩經訳注』（『目加田誠著作集』第 2 卷、龍溪書舎、1982 年）
- 『三秦記』（『重較説郛』弓第 61）
- 『後漢書』（中華書局 点校本）
- 『晋書』（同上）
- 『明史』（同上）
- 『清史稿』（同上）
- 
- 『荊楚歳時記』（守屋美都雄訳注・布目潮瀨他補訂、平凡社 東洋文庫、1981 年）
- 『西京雜記』（『四部叢刊』）
- 『芸文類聚』（中文出版、1980 年）
- 『太平御覽』（『四部叢刊』3 編、1985 年）
- 『東京夢華録』『夢梁録』『武林旧事』（『東京夢華録 外四種』台北・古亭書屋、1975 年）
- 洪邁『夷堅志』（何卓点校『新校輯補夷堅志』中華書局、1981 年）
- 周敦頤「周廉溪先生全集」（『叢書集成新編』60 所収）
- 
- 李邕『李北海集』（『文淵閣四庫全書』）
- 王文誥輯注、孔凡礼点校『蘇軾詩集』中華書局、1982 年
- 蘇轍『欒城集』卷 13（『文淵閣四庫全書』）
- 葛紹体『東山詩選』（『文淵閣四庫全書』）
- 姚勉『雪坡集』（『文淵閣四庫全書』）
- 王世貞『弇州四部稿』（『四庫明人文集叢刊』上海古籍出版社、1993 年）
- 徐渭『徐文長三集』（国立中央図書館編印『明代芸術家集刊』）
- 袁枚『随園詩話』（王英志主編『袁枚全集』3、江蘇古籍出版社、1993 年）
- 
- 『和漢朗詠集私注』新典社、1982 年
- 『新編日本古典文学全集 59 謡曲集』小学館、1998 年
- 平久保章編『新纂校訂隠元全集』開明書店、1979 年

## 第 2 部

### 【論文・解説】

- 清涼寺十六羅漢像図版解説『国華』154 号、1902 年
- 瀧精一「宋画羅漢説」『国華』238 号、1910 年
- 矢代幸雄「宋模周文矩宮中図」『美術研究』25、1934 年（『矢代幸雄東洋美術論考』1942 年、座右宝刊再録 92 頁）

田中喜作「大和絵十六羅漢像に就いて」『美術研究』第58号、1936年  
 矢代幸雄「宋模周文矩宮中図の新断片」『美術研究』56、1936年  
 大口理夫「茨城金龍寺の羅漢画」『画説』42号、1937年  
 島田修二郎「高桐院所蔵の山水画について」『美術研究』165号、1952年  
 川口久雄「九條家本王朝無名漢詩集の出現とその特質」諸橋轍次先生古稀祝賀記念会『諸橋博士古稀祝賀記念論文集』 1953年  
 矢代幸雄「再説宋模宮中図巻」『美術研究』169、1953年  
 塚本善隆「清凉寺釈迦像封蔵の東大寺奮然手印立誓書」『仏教文化研究』第4号、1954年  
 塚本善隆「嵯峨清凉寺史・平安朝篇」『仏教文化研究』第5、1955年  
 米澤嘉圃「十六羅漢図」（図版解説）『国華』754号、1955年  
 日比野丈夫「敦煌の五台山図について」『仏教芸術』34号、1958年  
 米澤嘉圃「中国の美人画について」『中国の名画1 中国の美人画』平凡社、1960年  
 小野勝年「入唐求法巡礼行記に見える仏教美術関係の記事について」（『仏教芸術』44号、1960年）  
 高崎富士彦「東博蔵国宝十六羅漢像の研究」『東京国立博物館紀要』第2号、1966年  
 古原宏伸「韓熙載夜宴図考（下）」『国華』888号、1966年  
 米澤嘉圃「黄山八勝画冊解説」『東洋美術』巻2、朝日新聞社、1968年  
 古原宏伸「清凉寺十六羅漢図解説」『原色日本の美術28 請来美術』小学館、1971年  
 鈴木敬「瀟湘臥遊図巻について」上・下『東洋文化研究所紀要』59・79 東京大学東洋文化研究所、1973・1979年  
 塚本善隆「引路菩薩信仰と地藏十王信仰」『塚本善隆著作集』7巻、大東出版社、1975年  
 松本守隆「大理国張勝温画梵像新論」上・下『仏教芸術』111・111八号、1977・1978年  
 米澤嘉圃「花卉雑画序説—近世水墨画の新展開」『水墨美術大系八大山人揚州八怪』（第11巻、講談社、1978年）  
 細野正信「四奥絵師とその末裔」『MUSEUM』343、1979年  
 松原茂「狩野晴川院と絵巻」『MUSEUM』344、1979年  
 新藤武弘「石濤小考」『鈴木敬先生還暦記念中国絵画史論集』吉川弘文館、1980年  
 鈴木敬「李唐の南渡復院とその様式変遷についての一試論」『国華』1047・1053号 1981・1982年  
 西上実「程正揆の絵画観について」京都国立博物館『学叢』4号、1982年  
 芳賀幸四郎「羅漢画及び羅漢観の変遷」『近世文化の形成と伝統』河出書房、1984年  
 宮崎法子「西湖をめぐる絵画」梅原郁編『中国近世の都市と文化』京都大学人文科学研究所、1984年  
 西上実「黄山八勝冊私考—石濤の景観合成について—」『山水』小学館、1985年  
 山下裕二「高桐院蔵李唐山水図試論」『美術史論叢』第3号、1987年  
 横田忠司「四睡図」解説 島田修二郎・入谷義高監修『禅林画賛』朝日新聞社、1987年

- 楊伯達（鶴田武良訳）「研究資料試論、風俗画・張挾端筆「清明上河図」の芸術的特色と位置（上）・（中）・（下）」『国華』1108・1110・1111号、1987・1988年
- 救仁郷秀明「『瀟湘臥遊図巻』小考—董源の山水画との関係について」『美術史論叢』6、1990年
- 小南一郎「李娃伝の構造」『東方学報』第62冊、1990年
- 戸田禎佑「王良臣筆『墨葡萄図』解説」『国華』1143号、1991年
- 小川裕充「李唐筆萬壑松風図・高桐院山水図—その素材構成の共通性について」『美術史論叢』8号、1992年
- 池田宏「狩野晴川院『公用日記』にみる諸相」『東京国立博物館紀要』28、1993年
- 張子寧（宮崎法子訳）「石濤の『白描十六尊者』巻と『黄山図冊』」（上）（下）『国華』（1184・1185）、1994年
- 宮崎法子「元代の花鳥画と墨竹画」『世界美術大全集東洋編第7巻元』小学館、1999年
- 宮崎法子「唐寅「王蜀宮妓図」作品解説」『世界美術大全集東洋編第8巻明』小学館、1999年
- 宮崎法子「南宋時代における実景山水図」『世界美術大全集東洋編第6巻南宋・金』小学館2000年
- 古田真一「女史箴図巻解説」『世界美術大全集 東洋編3 魏晉南北朝』小学館、2001年
- 実方葉子「住友コレクションにみる中国絵画鑑賞と収集の歴史（資料編）」『泉屋博古館紀要』23、2007年
- 皆川三知「『探幽縮図』にみる「唐美人図」」仲町啓子編『仕女図から唐美人図へ』実践女子学園学術教育研究叢書17、2009年
- 宮崎法子「資料紹介：実践女子大学図書館所蔵『探幽縮図』」『実践女子大学美学美術史学』25号、2011年
- 鄭振鐸（近藤邦康訳）「清明上河図研究」『国華』807・809号、1959年
- 鄭為「論石濤生活行徑思想递変及芸術成就」『文物』1962年
- 陳從周「揚州片石山房—石濤疊山作品」『文物』1962年第2期
- 傅申「黄山図巻解説」『文人画粹編』第8巻中央公論社、1967年
- 葉葉「蕭士瑋・閔麟嗣贈石濤上人詩考」『大陸雜誌』50巻第2期、1975年
- 王方宇「八大山人『世説新語詩』—『不可解、則不可解。不解、以解解之』」・「八大山人和石濤的共同友人」王方宇編『八大山人論集』上、台北・国立編訳館中華叢書編審委員会、1979年
- 饒宗頤「至樂樓藏八大山人山水画及其相關問題」（王方宇編『八大山人論集』上、1979年）
- 汪世清「『虬峰文集』中有關石濤的詩文」『文物』1979年12期
- 汪世清「石濤散考之四—勁庵先生何許人」『大公報』1980年11月12日
- 張寿林「王昭君故事演變之点点滴滴」王秋桂編『中國民間伝説論集』台北・国立編訳館中華

- 叢書編審委員會、1980年
- 柴沢俊・朱希元「廣勝寺水神廟壁面初探」『文物』1981年5期
- 孔憲易「清明上河圖的「清明」質疑」『美術』1981年2期
- 汪世清「八大山人小考」『大公報』1982年11月
- 何惠鑑「澹巖居士張澂考略並論『模周文矩宮中圖卷』跋後之「軍司馬印」及其他偽印」『上海博物館集刊』2、1983年
- 楊臣彬「試談梅清及其繪畫藝術」新安畫派國際會議配布資料、合肥、黃山、1984年
- 汪世清「南州喜晤黃研旅一八大山人小考之七」『藝林』新274期（「大公報」1985年11月16日）
- 汪世清「石濤行跡與交遊補證一石濤散考之六」『藝林』第324期（「大公報」1986年9月2日）
- 孔憲易「張挾端非宋人弁」『史學月刊』、1988年1期
- 曾嘉寶「永樂宮純陽殿壁面題記積義：兼及朱好古資料補記」『美術研究』北京、1989年
- 劉九庵「吳門畫家之別號圖及鑑別舉例」『劉九庵書畫鑑定文集』文物出版社、2007年（原載『故宮博物院院刊』1990年第3期）
- 張子寧「八大山人山水畫的研究」『故宮文物月刊』97、1991年
- 胡昌健「唐寅臨《韓熙載夜宴圖》考弁」『四川文物』1992年2期
- 張子寧「石濤的『白描十六尊者』卷與「黃山圖」冊」『國立歷史博物館館刊』第3卷第1期 1993年
- 余輝「《韓熙載夜宴圖》卷年代考一兼探早期人物畫鑒定方法」『故宮博物院刊』第4期（總第62期）1993年
- 趙曉華「簪花仕女圖由屏風改為卷軸畫傳藏之認識」『故宮文物月刊』13卷5期、1995年
- 林莉娜「明代宮廷繪畫機構制度考」『故宮學術季刊』第13春第1期、1995年
- 余輝「元代宮廷繪畫機構初探」『故宮博物院院刊』1998年第1期
- 余輝「元代宮廷繪畫史及佳作考辨」上、附表、故宮博物院院刊』1998年第3期總81期
- 衣若芬「北宋題仕女畫詩析論」『中央研究院中國文哲研究所十周年紀念論文集』1999年
- 單国强「韓熙載夜宴圖卷作品解說」『中國繪畫全集 第5五代宋』文物出版社、1999年
- 陳葆真「南唐繪畫特色與相關問題的探討」『區域與網路—近千年來中國美術史研究國際學術研討會論文集』台灣國立大學藝術研究所、2001年
- 廖寶秀「歷代茶器述要」『也可以清心—茶器·茶事·茶畫』國立故宮博物院、2002年
- 「韓熙載夜宴圖卷作品解說」、朱順龍主編『國寶72：晉唐宋元書畫珍品選』上海社會科學學院出版社、2002年
- 朱良志「石濤與八大山人的共同友人退翁考」『文物』、2005年2期
- 黃忞烈・戴立強「《清明上河圖》早期題跋者之生平事蹟考略」『收藏中國文物報』7、2005年
- 許全勝「八大、石濤友人退翁補說」『文物』2005年10期
- 陳韻如「萬壑松風圖解說」『大觀北宋書畫圖錄』國立故宮博物院、2006年

戴立強「清明上河図異本考述」「《清明上河図》所画非秋景弁一兼及其画名意義的探討」「今本清明上河図殘欠説」遼寧省博物館編『《清明上河図》研究文献匯編』万象出版社、2007年  
徐邦達「清明上河図の初歩研究」（同上）  
劉九庵「有関《清明上河図》の一通明人尺牘」（同上）  
楊新「《清明上河図》地理位置小考」（同上）  
河浚「北宋東京上善門考—關於《清明上河図》中の城楼」（同上）  
尚瓊《清明上河図》最後一跋者「鷺津如寿」考」  
(<http://news.artron.net/20111014/n195201.html>)

Sylvan Lévi et Edouard Chavannes, “Les seize arhat protecteurs de loi”, *Journal Asiatique*, Juillet-Aout, Septembre-Octobre 1916.

Richard Barnhart, “Li T’ang (c.1050 - c.1130) and the Koto-in Landscapes”, *The Burlington Magazine*, Vol.114, No.830, 1972.

Mette Siggstedt, “Zhou Wenju,” entry in *Dictionary of Art* (London: McMillian Publishing Co., 1996, vol.33.

Howard Rogers, “Entry No.4, Bird and Flower Painting by Wang Xi”, *KAIKODO Journal* 1996.

#### 【書籍・図録】

常盤大定・関野貞『支那仏教史蹟』（解題） 仏教史蹟研究会、1926～1930年  
大村西崖『塑壁殘影』文玩莊、1926年  
松本栄一『敦煌画の研究』図像篇、東方文化学院東京研究所、1937年  
松原三郎・鈴木敬「Ⅱ彫刻」『東洋美術史要説』下、吉川弘文館、1957年  
余懷（岩城秀夫訳）『板橋雜記』東洋文庫 29、平凡社、1964年  
鈴木敬『総合研究・宋元仏画、就中羅漢図・十王図の研究』東京大学東洋文化研究所、1968・1969年度、1971・1972年度  
小林太市郎「禅月大師の生涯と芸術」『小林太市郎全集』3、淡交社、1974年  
『元代道釈人物画』特別展図録 東京国立博物館 1975年  
清岡卓行・佐伯快勝『浄瑠璃寺』古寺巡礼・京都7、淡交社、1976年  
窪徳忠『道教史』世界宗教史叢書9、山川出版社、1977年  
T・F・カーター（L・C・グドッチ改訂）藪内清・石橋正子共訳『中国の印刷術Ⅰその発明と西伝』平凡社東洋文庫、1977年  
アンリ・マスペロ（川勝義雄訳）『道教』平凡社東洋文庫、1978年  
平林文雄『参天台五臺登山記校本並に研究』風間書房、1978年  
鈴木敬『中国絵画史』上、吉川弘文館、1981年  
鈴木敬『中国絵画史』中之一、吉川弘文館、1984年

中村茂夫『石濤一人と芸術』東京美術、1985年  
『国際交流美術史研究会第四回シンポジウム、東洋美術における風俗表現』国際交流美術史研究会〔大阪大学文学部美術史学研究室〕、1985年  
目加田誠訳『世説新語 上』新釈漢文大系、明治書院、1986年版  
米沢嘉圃『米沢嘉圃美術史論集』上巻、国華社、1994年  
沈括『夢溪筆談』（梅原郁訳注『夢溪筆談』平凡社 東洋文庫 1995年）  
孟元老（入矢義高・梅原郁訳注）『東京夢華録：宋代の都市と生活』平凡社 1996年  
斎藤茂『妓女と中国文人』東方選書 35 東方書店、2000年

傅抱石『石濤上人年譜』1941年  
鄭拙廬『石濤研究』北京人民美術出版社、1961年  
馮漢驥撰『前蜀王建墓發掘報告』文物出版社、1964年  
劉淵臨『清明上河図之総合研究』台北・芸文印書館、1969年  
江兆申『關於唐寅的研究』台北国立故宫博物院、1976年  
傅申『元代皇室書画収蔵史略』国立故宫博物院、1981年  
徐邦達『中国書画偽訛考弁』江蘇古籍出版社、1984年  
柴沢俊・張丑良編著『繁峙巖山寺』文物出版社、1990年  
『中国古代地図集（戦国-元）』文物出版社、1990年  
楊仁愷『国宝浮沈録—故宮散逸書画見聞録』上海人民美術出版社、1991年  
上海市松江県地方志編纂委員会編著『松江県志』上海・新華書店、1992年  
陳正宏『沈周年譜』復旦大学出版社、1993年  
『楊新美術論文集』紫禁城出版社、1994年  
錢振民『李東陽年譜』復旦大学出版社、1995年  
楊新『四僧絵画』（『故宮博物院蔵文物珍品全集』香港・商務印書館 1995年）  
劉九庵『宋元明清書画家伝世作品年表』上海書画出版社、1997年  
柴沢俊編著『三清寺觀壁画』文物出版社、1997年  
周宝珠『《清明上河図》与清明上河学』河南大学出版社、1997年  
劉芳如編『明中葉期人物画家特展—杜堇・周臣・唐寅・仇英』台北国立故宫博物院、2000年  
遼寧省博物館編『《清明上河図》研究文献滙編』万象出版社、2007年  
陳高華『元代画家史料』杭州出版、2004年  
張升『王鐸年譜』上海書画出版社、2005年  
汪世清『卷懷—汪世清芸苑查疑補證散考上・下』台北・石頭出版社、2006年

James Cahill, *Hills Beyond a River*, 1976.

Wai-kam Ho and others ed., *The Century of Tung Ch'i-Ch'ang 1555-1636*, Volume 1, P.46, Seattle and London: The Nelson -Atkins Museum of Art, The University of Washington Press, 1992.



Stephan Little, *Taoism and the Art of China*, The Art Institute of Chicago, 2000.

【美術全集・工具書】（美術全集は1部に記載分を除く）

戸田禎佑, 小川裕充編『花鳥画の世界中国の花鳥画と日本 11』学習研究社、1983年

莊巖主編『晋唐以来書画家鑑職家款印譜』国立故宮中央博物院共同理事会、1964年

『元人伝記資料索引』新文豊出版公司、1979年

俞劍華『中国美術家人名辞典』上海人民美術出版社、1980年

『故宮藏画大系』国立故宮博物院博物院 1993年

『中国古代版画叢刊・二編』上海古籍出版社、1994年

【画史・著録】

張彦遠『歴代名画記』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）

黄休復『益州名画録』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）

劉道醇『聖朝名画評』（『中国美術論著叢刊』）

劉道醇『五代名画補遺』（『美術叢書』6集所収本）

郭若虚『図画見聞誌』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）

『宣和画譜』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）

鄧椿『画継』（『中国美術論著叢刊』『画史叢書』）

湯垕『画鑑』（『古今画鑑』（『美術叢書』、『中国書画全書』）及び修訂本 上海書画出版社、1992年・2009年）

姜紹『無声詩史』（『画史叢書』）

陶宗儀『書史会要』／朱謀壻『書史会要続輯』（『中国書画全書』）及び修訂本）

朱存理『鉄網珊瑚』（『芸術賞鑑撰珍』台北・国立中央図書館 1971年）（『中国書画全書』及び訂本）

文嘉『鈴山堂書画記』（『美術叢書』『中国書画全書』）

何良俊『四友齋画論』（『中国書画全書』）及び修訂本）

董其昌『画禅室随筆』卷1（文淵閣四庫全書本）

董其昌『容台集別集』（国立中央図書館編『明代芸術家集彙刊』、1968年李日華『味水軒日記』（『中国書画全書』）

汪砢玉『珊瑚網』（『中国書画全書』）

卞文瑜『式古堂書画彙考』台北・正中書局、1968年

張丑『清河書画舫』（台北 学海出版 1975年）（『中国書画全書』）

吳升『大観録』（『芸術賞鑑撰珍』台北・国立中央図書館 1970年）（『中国書画全書』）

孫鑛『書画跋跋』（『芸術賞鑑撰珍』続輯 台北・国立中央図書館 1970年）（『中国書画全書』）

安岐『墨縁彙観』（『中国書画全書』）

孫承澤『庚子銷夏記』（『藝術賞鑑撰珍』続輯 台北・国立中央図書館 1971年）（『中国書画全書』）

厲鶚『南宋院画録』（『画史叢書』）

『石渠宝笈』台北 国立故宫博物院博物院 1971年

顧復『平生壯觀』（『藝術賞鑑撰珍』続輯、『中国書画全書』）

龐元濟『虛齋名画続録』（『中国書画全書』及修訂本）

### 【漢籍】

『漢書』（中華書局点校本）

『後漢書』（同上）

『晋書』（同上）

『新唐書』（同上）

『新五代史』（同上）

『宋史』（同上）

『續資治通鑑長編』（中華書局点校本、清光緒7年浙江書局刊本底本）

『明一統史』

『西京雜記』（『四庫筆記小説叢書』上海古籍出版社）

沈括『夢溪筆談』（『津逮秘書』）

孟元老『東京夢華録』吳自牧『夢梁録』（『東京夢華録 外四種』台北・古亭書屋、1975年）

周密『雲煙過眼録』（『中国書画全書』）

余永麟『北牕頌語』（文淵閣四庫全書）

祝穆『方輿勝覽』（京都中文出版 用南海孔氏嶽雪樓鈔本 1982年）（『文淵閣四庫全書』）

《至元嘉禾志》（『宋元地方志叢書』）（文淵閣四庫全書）

田汝成『西湖遊覽詩餘』（上海古籍出版 1980年）

正德『松江府志』（『天一閣明代方志選刊続』6所収本）

正德『姑蘇志』（『天一閣藏明代方志選刊続』13）

閔麟嗣主編『黄山志定本』（康熙18年〔1679〕原刊本）

『重修徽州府志』（道光7年〔1827〕重修『中国方志叢書』）

『重修安徽通志』（吳坤修等修何紹基等纂、光緒4年刊本）

『大清畿先哲伝』（徐世昌民国4～6年〔1915～1917〕天津徐氏刊本）

『国朝著獻類徴』（光緒10～16年〔1884～1900〕湘陰李氏刊本）

汪洪度『黄山領要録』（『知不足齋叢書』所収）

凌迪知『萬姓統譜』（文淵閣四庫全書）

『六臣注文選』（『四部叢刊』『文淵閣四庫全書』）

『蘇東坡全集』（世界書局）  
『東坡全集』（文淵閣四庫全書）  
『全宋詩』（北京大学出版會 1998年）  
紹遠『声画集』（『棟亭藏書十二種』本）（文淵閣四庫全書）  
張籀『張司業集』（文淵閣四庫全書）  
韓駒『陵陽集』（文淵閣四庫全書）  
李祁『雲陽集』（文淵閣四庫全書）  
劉克莊『後村先生大全集』（『四部叢刊』本）  
宋濂「元故湛淵先生墓銘」『湛淵集』付録（文淵閣四庫全書）  
胡儼『頤菴文選』（文淵閣四庫全書原文電子版集部）  
凌雲翰『柘軒全集』（『武林往哲遺著付後編』光緒中錢塘丁氏嘉惠堂刊本所載）  
陸深『儼山集』（『四庫全書珍本5集』）  
王衛平主編『沈周集』上・下（蘇州文獻叢書第2輯、上海古籍出版社、2013年）  
吳寬『匏翁家藏集』（『四部叢刊』本）  
李東陽『懷麓堂集』（文淵閣四庫全書）  
李東陽『懷麓堂詩話』（文淵閣四庫全書）  
文徵明『甫田集』（台北・國立中央圖書館編『明代藝術家集彙刊』所收、1968年）  
文洪『文氏五家集』（四庫全書珍本、初集、商務印書館）  
王世貞『弇州四部稿』『弇州四部稿續稿』（『弇州四部稿：外六種』上海古籍出版社 1993年）  
焦竑『國朝獻徵錄』（文淵閣四庫全書）  
梅清『天延閣刪后詩』（內閣文庫藏本）  
汪均撰「清湘老人題記」（『十二硯齋三種』）  
曹弼「遊黃山記」（『黃山志定本』卷5 芸文下遊記下）

#### 【和書】

藤原実資『小右記』（『大日本古記録』）  
『御堂関白記』（『大日本古記録』）  
藤原実綱「法成寺塔願文」（『本朝続文粹』卷12）  
『中右記』（『増補史料大成』）  
『兵範記』（『増補史料大成』）  
『左経記』（『史料大成』）  
『台記』（『史料大観』）  
『百鍊抄』（『国史大系』）  
『吾妻鏡』（『国史大系』）

【仏典・仏書】

円仁『巡礼行記』巻3、開成5年(840)5月2日の條

成尋『參天台五台山記』(『大日本仏教全書』)

『諸寺縁起集』(『大日本仏教全書』所収)

「唐本一切經目錄」巻下(高山寺蔵)『昭和法寶總目錄』巻2所収

『仏説三摩竭經』(大正巻2)

『十誦律』(大正巻23)

『大阿羅漢難提蜜多羅所説法住記』(法住記)(大正巻49)

『仏祖統記』(大正巻49)

『法苑珠林』(大正巻53)

『付法蔵因縁伝』「羅漢部」(大正巻50)

『阿育王經』(大正巻50)

『阿育王伝』(大正巻50)

『高僧伝』(大正巻50)

『宋高僧伝』(大正巻50)

『続高僧伝』(大正巻50)

鵜飼徹定『羅漢図讃集』全3巻(文久2年[1862]刊)

スタイン文書397号(東洋文庫マイクロフィルムによる)

望月信亨『望月仏教大辞典』京都・世界聖典刊行協会1954年

## 要旨

本書は、宋代仏画研究、花鳥画・山水画の寓意とその伝統社会における意義に関する研究、元明清時代の文人画研究、近代における中国画コレクションの形成に関する研究、日中美術交流に関する研究など、著者の中国絵画史に関する諸テーマの研究成果を整理し、総合的かつ多角的に中国絵画を捉えられるように再構成し、二部構成としてまとめたものである。各論は、いずれも、中国の絵画を含む文化活動と深く関わっていた中国の社会システムのなかで、絵画が果たしてきた役割への関心と、それが作品の表現の特徴にどのように表れているのか、という美術史的な視点に基づいて、具体的事例や作品に即して考察した論考である。

第一部は、絵画を取り巻く世界（社会）との係わりに重点をおいて、中国絵画を論じ、第二部は、絵画作品そのものの美術史的な様式分析を、作品や画家をとりまく状況、制作背景と関連づけながら論じる。

第一部、中国絵画をめぐる世界では、以下の章立てに従って、まず、中国の伝統社会において絵画が果たした役割を、ジェンダー的視点や画題の意味に着目することで解き明かす。次いで、日中の美術を中心とした非対称の交流を、歴史的に概観し、絵画をめぐる両地の状況の違いから分析する。最後に、近代における新たな地政学的状況下での、中国伝統美術の状況と展開、日本における評価や研究について論ずる。

### 第一章 山水、人物、花鳥の主題と社会

- 一 女性の消えた世界
- 二 中国山水画の内と外
- 三 中国における女性描写の展開
- 四 花鳥画の役割と意味—藻魚図、蓮池水禽図、草虫画にみる寓意を中心に
- 五 歳寒三友と四君子

### 第二章 中国文化圏のなかの日本—非対称の文化交流

- 一 伝統中国から見た日本美術
- 二 明代蘇州の園林文化とその伝播—呉派別業図から大名庭園へ
- 三 日本伝来の作品からみる明代の「偽好物」

### 第三章 近代における中国絵画

- 一 近代日本における文人文化熱とその消長
- 二 日本近代のなかの中国絵画研究
- 三 桑名鉄城の訪中と「安晩帖」の伝来について

#### 四 『吉祥図案解題』と野崎誠近

#### 五 中国美術の近代

第二部、作品の世界を読むでは、以下の章立てによって、宋元、明清と時代ごとに、山水画、人物画、花鳥画から、各時代やジャンルを代表する画家や作品を取り上げ、宋代から清初に至る中国絵画を展望する。各論においては、日本の研究が培ってきた作品の描写様式の分析を基礎に、落款印章、題跋文、画史類や、関連する詩文、著録、地方志などの文字資料を援用し、絵画作品を具体的に読み解く。その際、画家たちが生きた環境や時代との関連を視野に入れて論じることにより、全体を通じて中国絵画史の展開を示した。また、特に明清画については、従来の日本の研究では取り上げることの少ない、日本伝来品以外の代表的名品を取り上げ、様式分析と文献研究の両面から考察を行った。

#### 第一章 宋元時代の道釈画と人物画

- 一 伝奄然将来十六羅漢図考
- 二 山西省の寺観壁画—北宋から元まで
- 三 静嘉堂文庫美術館蔵「十王図・二使者図」について
- 四 交差する視線—宮中図を中心に
- 五 「清明上河図」の過去と現在—今後の研究に向けて

#### 第二章 宋元時代の花鳥画・山水画

- 一 崔白「双喜図」について
- 二 元「花鳥図」（オーストラリア国立ヴィクトリア美術館蔵）について
- 三 上海博物館蔵「西湖図」巻と北京故宫博物院蔵「西湖草堂図」巻について
- 四 南宋宮廷絵画における文人意識—画院画家の二つ画風について
- 五 「瀟湘臥遊図巻」から趙孟頫へ

#### 第三章 明清時代の絵画

- 一 呉派初期の別業図—沈周「東荘図」冊を中心に
- 二 「韓熙載夜宴図巻」と明代江南人物画
- 三 「雲溪仙館図」「仙山樓閣図」から見る仇英山水画の展開
- 四 徐渭の作画の背景—日本伝来の浙江地方の墨戯との関連を中心に
- 五 董其昌山水画における実景—「婉孌草堂図」を中心に
- 六 八大山人の甲戌（一六九四）年
- 七 石涛と「黄山図巻」